

**This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record**

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

## **IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平5-23288

(43)公開日 平成5年(1993)3月26日

(51)Int.Cl.<sup>4</sup>  
G 0 7 G 1/12  
G 0 6 F 15/21  
H 0 4 B 1/04

識別記号 庁内整理番号  
3 6 1 C 8921-3E  
3 3 0 7218-5L  
Q 7240-5K

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2(全3頁)

(21)出願番号 実願平3-79794

(22)出願日 平成3年(1991)9月6日

(71)出願人 000168285

甲府日本電気株式会社  
山梨県甲府市大津町1088-3

(72)考案者 中村 敏幸

山梨県甲府市大津町1088-3 甲府日本電  
気株式会社内

(74)代理人 弁理士 渡辺 喜平

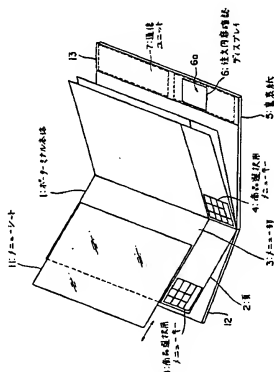
(54)【考案の名称】 商品注文用ポータブルターミナル

(57)【要約】

【目的】 顧客が直接商品の注文を行うことができる商品注文用ポータブルターミナルを提供する。

【構成】 商品を表示したメニュー部(3)と、このメニュー部(3)から選択した商品を入力する商品選択用メニューキー(4)と、このメニューキー(4)によって入力した注文内容を表示する注文内容確認ディスプレイ(6)と、メニューキー(4)から入力されたデータをホストコンピュータに送信する通信ユニット(7)とを備え、顧客がメニュー部(3)を見ながら商品選択用メニューキー(4)に注文内容を入力し、入力した注文内容を注文内容ディスプレイ(6)で確認した後、通信ユニット(7)により注文内容のデータをホストコンピュータに送信するように構成した商品注文用ポータブルターミナル。

【効果】 正確な商品注文を行うことができ、しかも注文にかかる時間を大幅に短縮することができる。



(2)

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 商品を表示したメニュー部と、このメニュー部から選択した商品を入力する商品選択用メニューキーと、このメニューキーによって入力した内容を表示する注文内容確認ディスプレイと、メニューキーから入力されたデータをホストコンピュータに送信する通信ユニットとを備えてなることを特徴とする商品注文用ポータブルターミナル。

【請求項2】 商品を表示したメニューシートを差し替え可能に収容するビニールファイル状のメニュー部を各頁に設けたブック型のポータブルターミナル本体の上記各頁の一部に商品選択用メニューキーを配設するとともに、その表表紙又は裏表紙に注文内容確認ディスプレイと通信ユニットとを配設してなる請求項1記載の商品注文用ポータブルターミナル。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の一実施例にかかる商品注文用ポータ

ルターミナルを示す斜視図である。

【図2】 同商品注文用ポータブルターミナルの頁部を示す分解斜視図である。

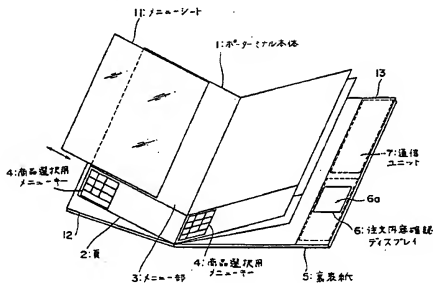
【図3】 同商品注文用ポータブルターミナルのメニュー部にメニューシートを挿入する状態を示す斜視図である。

【図4】 同商品注文用ポータブルターミナルの裏表紙部を示す斜視図である。

【符号の説明】

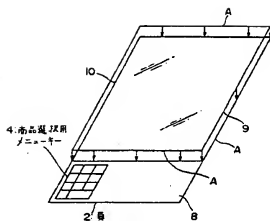
- 1 ポータブルターミナル本体
- 2 頁
- 3 メニュー部
- 4 商品選択用メニューキー
- 5 裏表紙
- 6 注文内容確認ディスプレイ
- 7 通信ユニット
- 11 メニューシート

【図1】

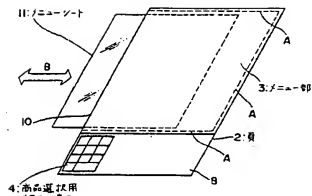


(3)

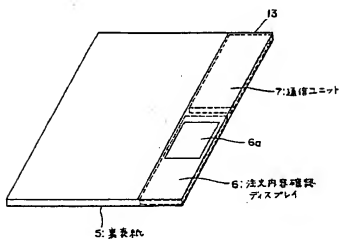
【図2】



【図3】



【図4】



(4)

【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案は、レストラン等において、メニューから商品を選択し、注文するための商品注文用ポータブルターミナルに関し、特に顧客が直接注文内容の入力を行うことができる商品注文用ポータブルターミナルに関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、レストラン等においては、従業員（ウェイターやウェイトレス）が携帯したポータブルターミナルに顧客からの注文に応じて商品の番号等を入力し、このポータブルターミナルから店のホストコンピュータに注文データを送信するオーダーシステムが採用されるようになってきている。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

しかしながら、このようなオーダーシステムでは、1件あたりの注文数が多数になる場合や顧客が多数である場合には、注文内容や注文数などの注文ミスが生じ易いという問題点がある。

【0004】

本考案は、上記問題点にかんがみてなされたもので、顧客が直接注文内容を入力ことができ、このため注文ミスの発生を可及的に防止することが可能な商品注文用ポータブルターミナルの提供を目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため本考案の商品注文用ポータブルターミナルは、商品を表示したメニュー部と、このメニュー部から選択した商品を入力する商品選択用メニューキーと、このメニューキーによって入力した内容を表示する注文内容確認ディスプレイと、メニューキーから入力されたデータをホストコンピュータに送信する通信ユニットとを備えた構成としてある。

【0006】

(5)

また、好ましくは、商品を表示したメニューシートを差し替え可能に収容するビニールファイル状のメニュー部を各頁に設けたブック型のポータブルターミナル本体の上記各頁の一部に商品選択用メニューキーを配設するとともに、その表表紙又は裏表紙に注文内容確認ディスプレイと通信ユニットとを配設した構成としてある。

【0007】

【作用】

上記構成からなる商品注文用ポータブルターミナルによれば、商品を表示したメニュー部と、注文する商品を入力する商品選択用メニューキーと、入力内容を表示する注文内容確認ディスプレイと、入力されたデータをホストコンピュータに送信する通信ユニットとが一体化されているので、顧客が上記メニュー部を見て所望の商品を選択して、その商品の商品番号等を上記商品選択用メニューキーで直接入力し、その注文内容を顧客自身が上記注文内容ディスプレイで確認し、その入力データをホストコンピュータに送信することができる。

【0008】

したがって、店員を間に介すことなく、顧客が直接注文内容を入力することができ、しかもその注文内容を顧客が自ら確認しながら入力操作を行うことができるので、注文数が多いときや多人数の注文を一度に行うときでも注文ミスが発生を可及的に防止することができる。

【0009】

【実施例】

以下、本考案の実施例について図面を参照して説明する。

図1乃至図4は、本考案の一実施例にかかる商品注文用ポータブルターミナルを示すもので、このポータブルターミナルは、ブック型のポータブルターミナル本体1と、このポータブルターミナル本体1の各頁2に設けられたメニュー部3及び商品選択用メニューキー4と、上記ポータブルターミナル本体1の裏表紙5に配設された注文内容確認ディスプレイ6及び通信ユニット7とを備えている。

【0010】

上記メニュー部3は、図2及び図3に示すように、頁2を構成する台紙8上の

(6)

上半部に透明のビニールシート9をその上端部、下端部及び台紙の折り返し部に当る部分（図中それぞれ参照符号Aで示す）をそれぞれ接着したもので、頁の見開き端部10が開口した袋状に形成されている。

【0011】

そして、図3に示すように、このメニュー部3にその開口部10から商品を表示したメニューシートを挿入して収容するようになっており、商品の表示内容を変更するときなどには、メニューシート11を開口部10から引き抜き、他のメニューシートを挿入することにより、メニューシートを差し替えることができるようになっている（図3中の矢印B参照）。

【0012】

上記頁2の上記メニュー部3の下方、すなわち頁2の下部には上記商品選択用メニューキー4が配設されている。このメニューキー4は、非常に薄型のものが採用され、頁2を比較的薄く形成することができるようになっている。

【0013】

上記ポータブルターミナル本体1の裏表紙5は、表表紙12及び各頁2より大きく形成され、ポータブルターミナル本体1を閉じた状態でもその見開き端部13が表表紙12や各頁2から外側に延出するようになっている。

【0014】

そして、この裏表紙5の見開き端部13には、図4に示したように注文内容確認ディスプレイ6及び通信ユニット7が埋設されており、注文内容確認ディスプレイ6の表示部6aは、この見開き端部13の内面側から確認できるようになっている。

【0015】

ここで、上記注文内容確認ディスプレイ6は、上記商品選択用メニューキー4により入力された内容をその表示部6aに表示するようになっており、また上記通信ユニット7は、商品選択用メニューキー4により入力されたデータをホストコンピュータに送信するようになっている。

【0016】

次に、この商品注文用ポータブルターミナルの使用法及び動作について説明す

(7)

る。

例えば、レストランにおいて、来客した顧客に店員等がこの商品注文用ポータブルターミナルを渡す。顧客は、この商品注文用ポータブルターミナルを開いてそのメニュー部3に収容されたメニューシート11に表示された商品の中から所望の商品を選択し、その商品の商品番号等を商品選択用メニューキー4により入力する。

【0017】

そうすると、このメニューキー4により入力された注文内容が注文内容確認ディスプレイ6の表示部6aに表示されるので、顧客はこの表示部6aの表示を見て注文内容に間違いがないかを確認する。この時、この注文内容確認ディスプレイ6が配設されている裏表紙5の見開き端部13は他の頁から外方へ延出しているため、いちいち他の頁をめくって裏表紙を開く必要がなく、各頁の商品選択用メニューキー4を操作しながら注文内容確認ディスプレイ6の表示部6aを確認することがとできる。

【0018】

注文内容を確認した後、顧客は商品選択用メニューキー4に設けられた確認キー（図示せず）を操作する。これにより、通信ユニット7が注文内容に応じたデータを店のホストコンピュータに送信し、このホストコンピュータに注文内容が入力されて商品の注文が終了する。

【0019】

したがって、この商品注文用ポータブルターミナルによれば、間に店員（ウェイトレス）を介することなく顧客が直接注文内容を入力することができ、しかも自分で注文した内容を確認しながら入力操作を行うことができるので、注文数が多いときや多人数の注文を一度に行うときでも注文ミスの発生を可及的に防止することができる。

【0020】

しかも、注文のために店員を呼んだり、店員が注文を聞いてその内容をポータブルターミナルに入力し、その入力内容に間違いがないかを顧客に確認するなど、の作業を行う必要がなく、注文にかかる時間を大幅に短縮することができる。



(8)

## 【0021】

本考案の商品注文用ポータブルターミナルは、上記実施例に限定されるものではなく、本考案の要旨の範囲内において適宜変更することができる。また、この商品注文用ポータブルターミナルは、レストランのオーダー用として好適に使用されるが、その用途はこれに限定されず、種々の商店などにおいて応用することができる。

## 【0022】

## 【考案の効果】

以上説明したように、本考案の商品注文用ポータブルターミナルによれば、顧客が商品内容が表示されたメニュー部を見ながら店員を間に介すことなく、直接商品選択メニューキーに注文内容を入力することができる。しかも、その注文内容を顧客が自ら注文内容確認ディスプレイで確認しながら入力操作を行うことができるので、注文数が多いときや多数の注文を一度に行うときでも注文ミスの発生を可及的に防止することができる。

## 【0023】

また、顧客が自分で直接注文内容の入力を行うことができるので、注文のために店員を呼んだり、店員が注文を聞いてその内容をポータブルターミナルに入力し、その入力内容に間違いがないかを顧客に確認するなどの作業を行う必要がなく、注文にかかる時間を大幅に短縮することができる。